



南日本運輸倉庫株式会社

会社概要

商号	南日本運輸倉庫株式会社	
役員	代表取締役会長 代表取締役社長 常務取締役 常務取締役 取締役 取締役 上席執行役員 上席執行役員 執行役員 執行役員 監査役	大園 博史 大園 圭一郎 石井 好雄 田口 充司 田尻 義美 行廣 賢太郎 齋藤 謙一 藤塚 晃大 渡辺 勝久 日野森 洋一 大園 祥江
本社所在地	〒164-0001 東京都中野区中野4-4-11 第12南日本ビル 4F	
本社連絡先	電話: 03-3388-6998 / FAX: 03-3389-8450	
本部所在地	〒335-0037 埼玉県戸田市下笛目166-3	
本部連絡先	電話: 048-443-1111 / FAX: 048-443-1112	
設立	1975年（昭和50年）6月6日	
資本金	74,000千円（南日本グループ380,520千円）	
従業員数	約4,000人（2025年3月末現在）	
売上高	単体: 約270億円 連結: 約500億円（2025年3月末現在）	
取引金融機関	みずほ銀行・三井住友銀行 他	
稼働車両数	自社車両: 900台超 協力会社: 1,200台超	
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・三温度帯物流事業 ・外食チェーン/小売店/量販店/問屋のセンター運営全般 ・全国共配事業（ジャパンフローズンネットワーク） ・3PL事業 ・倉庫業（保税） ・食品輸出輸入事業 ・貨物運送取扱事業 ・流通加工業務（詰替作業:パック業務） ・通販物流（EC）保管・発送業務 ・食品卸業（量販店向け） ・損害保険代理店業務 ・自動車整備業務 	

主要取引先様

- ・旭食品株式会社
- ・株式会社アプアプ赤札堂
- ・株式会社オーエムツーミート
- ・株式会社紀文フレッシュ
- ・協栄流通株式会社
- ・国分グループ本社株式会社
- ・国分関信越株式会社
- ・国分首都圏株式会社
- ・国分ロジスティクス株式会社
- ・株式会社コスマス薬品
- ・株式会社トーホーフードサービス
- ・株式会社ドン・キホーテ
- ・日清医療食品株式会社
- ・株式会社日本アクセス
- ・株式会社ニュー・クイック
- ・朋和産業株式会社
- ・三井物産流通グループ株式会社
- ・三菱食品株式会社
- ・ネットワークサービス株式会社
- ・株式会社雪国まいたけ

<物流・車両関連事業>

- ・株式会社JFNフードロジ (全国共同配送ネットワーク)
- ・アデック物流株式会社 (常温:精密機器物流/引越/センター運営)
- ・昭和冷凍株式会社 (冷凍倉庫業・食品輸入)
- ・有限会社東京自動車 (自動車修理・販売)
- ・首都圏流通システム協同組合(ETC管理)
- ・DENBA DISS株式会社 (鮮度保持装置実装次世代型コールドチェーン)
- ・DENBA DISS KOREA Co., Ltd.
- ・株式会社和幸流通サービス (常温:輸送/保管/流通加工)
- ・株式会社東成流通サービス (冷蔵冷凍:配送/保管)
- ・Satoyu Trading Pte. Ltd.
- ・株式会社ニュー多摩運輸 (3温度帯:輸送/保管)
- ・株式会社不二運輸(運送・倉庫保管)

主なグループ会社

<その他事業>

- ・南国興産株式会社 (ビル・マンション賃貸)
- ・共同物産株式会社(不動産仲介)
- ・キャニオンサービス株式会社 (ビル・マンション管理)
- ・合同会社大園ファーム(農作物生産・販売)
- ・株式会社あんしんサポート保険 (損害保険)
- ・株式会社アシスト (人材派遣)
- ・白沢高原リゾート株式会社 (ゴルフ場)
- ・株式会社太田双葉カントリークラブ (ゴルフ場)
- ・株式会社ワインズ・コーポレーション ジャンボゴルフガーデン(ゴルフ練習場)
- ・株式会社ゴルフガーデン金沢(ゴルフ練習場)
- ・株式会社宮城スポーツ(ゴルフ練習場)
- ・あらい道の駅株式会社 (商業・休憩・地域振興施設)
- ・株式会社白沢振興公社 (休憩・地域振興施設)
- ・MTLS VIETNAM LIMITED COMPANY (人材サービス)

広告・協賛活動 について



アスリート育成支援



沿革 1/2

1975年(昭和50年)	6月 南日本運輸倉庫株式会社 設立
1983年(昭和58年)	4月 東京都中野区上高田 本社移転
1991年(平成 3年)	4月 浦和センター 開設
1995年(平成 7年)	6月 千葉フローズンセンター 開設
1996年(平成 8年)	4月 川口フローズンセンター 開設 10月 川口流通センター 開設
1999年(平成11年)	6月 川口共配センター 開設 (現、川口フローズンセンター)
2000年(平成12年)	2月 川口物流センター 開設
2004年(平成16年)	4月 岩槻外食センター 開設 (現、首都圏総合センター)
2009年(平成21年)	4月 埼玉物流センター 開設
2012年(平成24年)	11月 株式会社太田双葉カントリークラブをグループ化
2013年(平成25年)	10月 春日部センター 開設
2014年(平成26年)	2月 藤沢センター 開設 10月 代表取締役社長 大園 博史 代表取締役会長 就任 専務取締役 大園 圭一郎 代表取締役社長 就任
2015年(平成27年)	1月 あらい道の駅をグループ化
2016年(平成28年)	9月 キャニオンサービス株式会社をグループ化 12月 白沢高原リゾートをグループ化
2017年(平成29年)	3月 三芳センター 開設 6月 株式会社アシストをグループ化
2018年(平成30年)	11月 昭和冷凍株式会社をグループ化
2019年(平成31年)	1月 藤沢センター 増設棟竣工 4月 ウインズ・コーポレーション ジャンボゴルフガーデンをグループ化
2019年(令和元年)	6月 株式会社白沢振興公社(望郷の湯)をグループ化 7月 株式会社トランステイリーを吸収合併 10月 佐野チルドフローズン物流センター 開設
2020年(令和2年)	7月 DENBA社業務提携 11月 株式会社D&F(D&Fゴルフ倶楽部)をグループ化 11月 DENBA DISS設立 (次世代コールドチェーン)
2021年(令和3年)	6月 足利営業所開設
2022年(令和4年)	1月 成田市場営業所 開設 (成田市場内) 4月 株式会社宮城スポーツをグループ化 7月 株式会社和幸流通サービスをグループ化 株式会社ファーストオーダーとの資本業務提携

沿革 2/2

2023年(令和5年)	8月 株式会社東成流通サービスをグループ化 ロジスティクスシステム協会主催 ロジスティクス大賞受賞 DENBA DISS KOREA設立 11月 Satoyu Trading Pte Ltd をグループ化
2024年(令和6年)	1月 株式会社ニュー多摩運輸をグループ化 8月 株式会社不二運輸をグループ化 12月 JSA-S1004 : 2020認証を2拠点で取得
2025年(令和7年)	3月 ISO31512認証を2拠点で取得 7月 佐野田沼センター 開設 10月 市川センター 開設

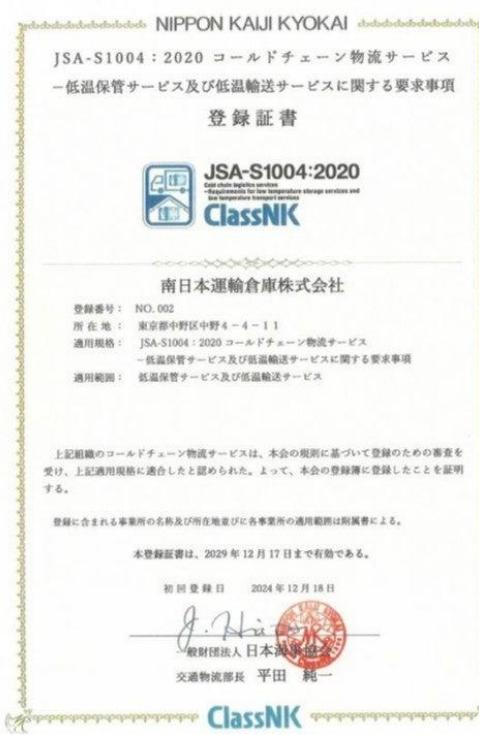


国際基準「ISO31512」の認証第一号として、
弊社佐野チルドフローズン物流センター及び
藤沢営業所の2拠点で認証を取得



2023年度ロジスティクス大賞 技術革新奨励賞を 受賞しました

「JSA-S1004:2020」国内初の認証として、
弊社佐野チルドフローズン物流センター及び
藤沢営業所の2拠点で認証を取得



54拠点

南日本グループ拠点配置

📍 南日本運輸倉庫 (34)

📍 アデック物流 (2)

📍 昭和冷凍 (7)

📍 和幸流通 (6)

📍 東成流通サービス (1)

📍 ニュー多摩運輸 (1)

📍 不二運輸 (2)

南日本(14)拠点のご案内

F 冷凍(平場) S 冷凍(自動倉庫)
 P パーシャル C 低温 D 常温

佐野チルドフローズンセンター

3,371坪 C 1,163坪 D 200坪 S 3,780P
F 60坪 P 404坪



佐野田沼センター

2,307坪 C 672坪 F 1,635坪

玉村営業所

703坪 C 373坪 D 300坪
F 30坪

三芳営業所

2,007坪 C 1,537坪 D 300坪
F 170坪

藤沢営業所

2,978坪 C 1,463坪 D 280坪
F 1,235坪

川口物流営業所

420坪 C 250坪 D 170坪



川口流通営業所

328坪 C 180坪

川口フローズン営業所

376坪 C 136坪 D 50坪
F 240坪 P 98坪

春日部営業所

1,741坪 C 651坪 D 315坪
F 775坪

首都圏総合/全国共配センター

2,279坪 C 988坪 D 415坪
F 714坪 P 161坪



埼玉物流センター

3,762坪 C 2,608坪 D 167坪
S 2,000P F 987坪



千葉営業所

263坪 C 115坪
F 149坪

千葉北営業所

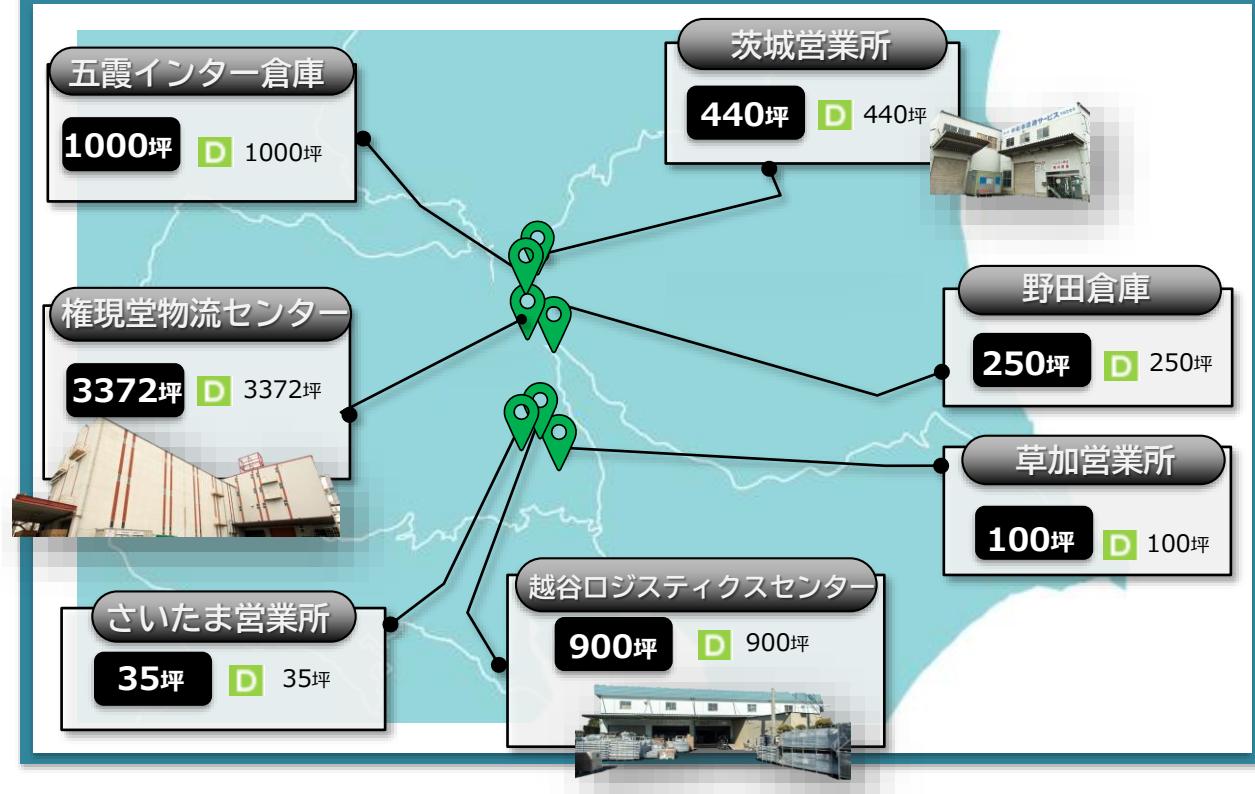
759坪 C 182坪 D 13坪
F 564坪

市川センター

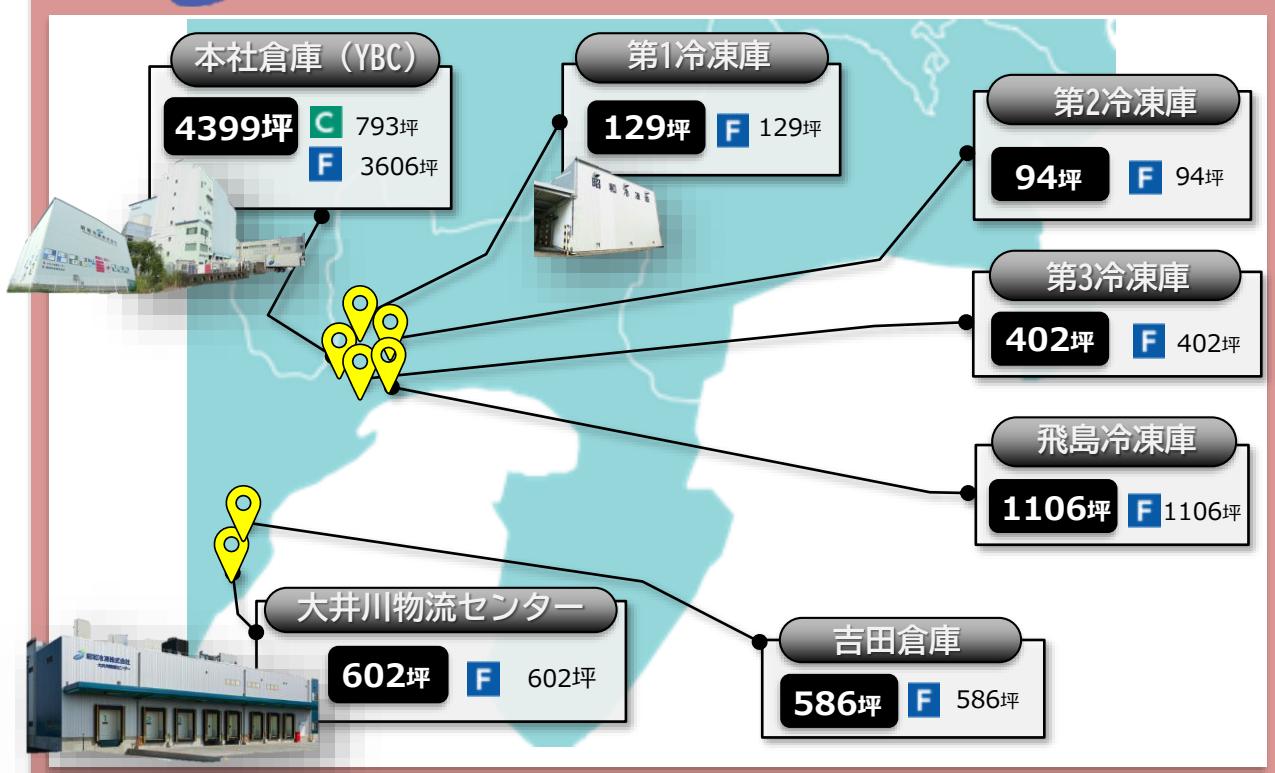
3,858坪 C 785坪
F 3,073坪



和幸流通(自社7拠点)のご案内



昭和冷凍(自社7拠点)のご案内



南日本運輸倉庫 全34拠点

2025.11.10 時点

	都道府県	拠点名	車両台数	保管坪計	(坪)				
					冷凍	冷蔵	パーシャル	常温	
1	東京都	江戸川	11						
2		板橋	19						
3		西東京							
4	埼玉県	川口フローズン		376	240	136			
5		川口流通	47	328		180	98	50	
6		首都圏総合	45	2,279	714	988	161	415	
7		所沢	56						
8		埼玉物流	73	3,762	987	2,608		167	
9		春日部	17	1,741	775	651		315	
10		三芳	14	2,007	170	1,537		300	
11		八潮	52						
12		川口							
13		川口物流	21	420	170	250			
14		千葉	45	263	148	115			
15		新港	25						
16		千葉北		759	564	182		13	
17	千葉県	千葉第二	16						
18		稻毛	26						
19		印西	28						
20		八千代	15						
21		成田市場	16						
22		市川		3,858	3,073	785			
23	神奈川県	藤沢	22	2,978	1,235	1,463		280	
24		横浜大黒							
25	茨城県	坂東	21						
26		土浦	25						
27	栃木県	宇都宮	21						
28		佐野	12	3,371	1,604	1,163	404	200	
29		佐野田沼		2,307	1,635	672			
30		足利	8						
31	群馬県	群馬	9						
32		太田	38						
33		高崎	34						
34		玉村	14	703	30	373		300	
南日本運輸倉庫			計	730	25,152	11,345	11,103	663	
								2,040	

グループ会社 6社 全21拠点

2025.11.10 時点

	グループ会社	拠点名	車両台数	保管坪計	(坪)			
					冷凍	冷蔵	パーシャル	常温
1	アデック物流	新座	13	210				210
2		習志野						
3	和幸流通	草加営業所	60	100				100
4		茨城営業所	21	440				440
5		さいたま営業所	25	35				35
6		越谷ロジスティクスセンター		900				900
7		五霞インター倉庫		1,000				1,000
8		権現堂物流センター		3,759				3,759
9	ニュー多摩運輸	本社営業所	40					
10	不二運輸	本社営業所	31	819				819
11		新田						
12	昭和冷凍	本社倉庫(YBC)	37	4,079	3,286	793		
13		第1冷凍倉庫	1	129	129			
14		第2冷凍倉庫	1	94	94			
15		第3冷凍倉庫	1	402	402			
16		飛鳥冷凍庫	5	1,106	1,106			
17		パックセンター		320	320			
18		大井川物流	3	602	602			
19		吉田倉庫	3	586	586			
20	東成流通	静岡ロジスティクスサポートセンター	74	650	135	515		
グループ会社 計			302	15,021	6,660	1,308		7,263

全社合計 全54拠点

	拠点数	車両台数	保管坪計	(坪)			
				冷凍	冷蔵	パーシャル	常温
南日本運輸倉庫	34	730	25,152	11,345	11,103	663	2,040
グループ会社 4社	20	302	15,021	6,660	1,308		7,263
全社 計	54	1,032	40,173	18,005	12,411	663	9,303

静岡県下に拠点を構える「昭和冷凍株式会社」

会社概要

保税倉庫・流通加工機能実装

商号	昭和冷凍株式会社
本社所在地	〒424-0037 静岡県静岡市清水区袖師町 1308 番地 20
会社の設立	昭和 52 年 3 月 11 日
資本金	3,852 万円
事業内容	冷凍総合物流業
車両数	大型 26 台、6t 11 台、4t 16 台、3t 8 台、2t 1 台
取得免許	倉庫業、保税蔵置場、畜産物輸入検査場所指定 一般貨物自動車運送事業、ISO9001
取引金融機関	静岡銀行、みずほ銀行、清水銀行、日本政策金融公庫、商工中金



業務・市販冷食

本社事務所・本社倉庫
運送事業部

第3冷凍倉庫

大手外食チェーン



チルドセンター

コンビニエンス



大井川物流センター



パック業務

大手食品メーカー



大井川物流センター吉田倉庫

超低温倉庫: マグロ原体



飛島冷凍第1・第2倉庫



THE Big Challenger by
Wako Ryutsu Service

株式会社和幸流通サービス

2022年6月 グループ参入

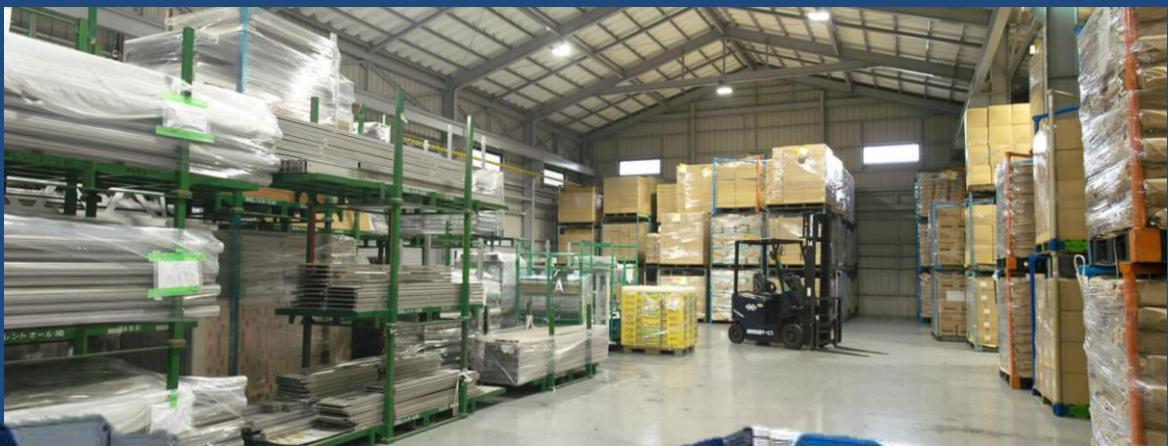


包装機

流通加工を始め、
商品アソート包装等、ご対応いたします。



建材・日用雑貨・スポーツ用品など、多彩な商品の管理



低温輸送



常温輸送



越谷ロジスティクス



つくばセンター



権現堂センター



五霞インター倉庫

株式会社東成流通サービス

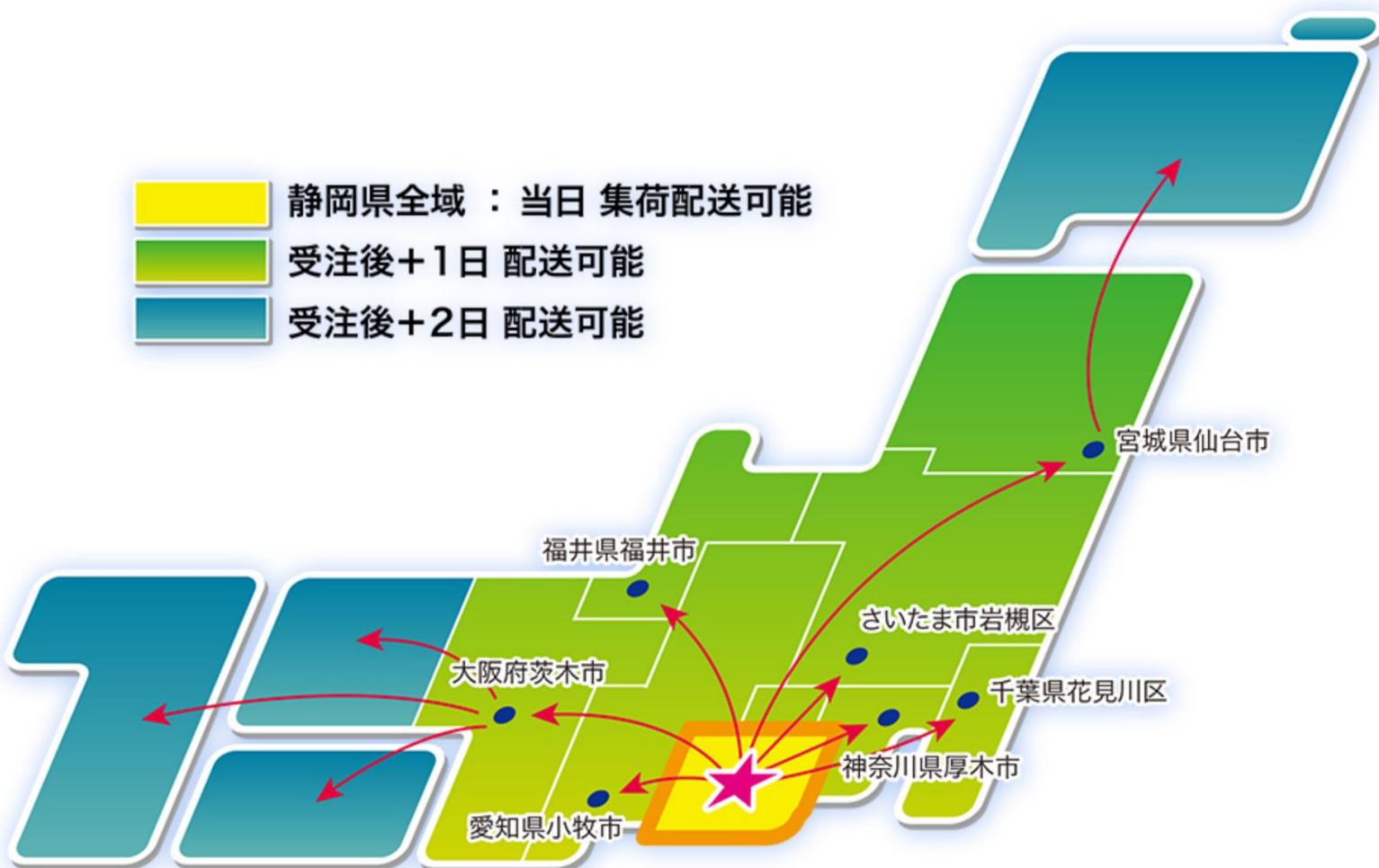


県下のおいしい食卓を 物流でサポート

安心と安全がモットーの食品専門輸送

私たちTOSEIは、静岡県・沼津市を中心にサービス展開する、食品専門の配送業者です。365日24時間体制で稼働する活動拠点を備え、専門知識を備えたプロたちがどんな依頼にも迅速に対応。おいしい食卓を囲む皆さまの笑顔のために、私た

- 静岡県全域：当日 集荷配送可能
- 受注後+1日 配送可能
- 受注後+2日 配送可能



2023年8月 グループ参入へ

- 静岡県下の集荷・共同配送対応
- 全国配送対応

JFN体制

36社 215事業所超

JFN物流インフラ

倉庫面積 **75,000** 坪
保有台数 **6,500** 台

全国共同配送のご提供

荷主



XD共配



納品



北海道ブロック

東北ブロック

甲信越ブロック

関東ブロック

大阪センター

中京ブロック

九州ブロック

首都圏総合物流センター

当社センターが関東圏のHUBセンターとなり 全国へお届け
首都圏総合物流センター BtoB / 3温度帯

北海道・東北地区

- 1 北海道 日幸産業運輸株式会社
- 2 北海道 共通商事株式会社
- 3 青森県 南貨物自動車株式会社
- 4 宮城県 株式会社エムラインサービス
- 5 岩手県 岩手雪運株式会社
- 6 福島県 株式会社須賀川東部運送

関東・甲信越地区

- 7 栃木県 A B C ロジテム株式会社
- 8 東京都 南日本運輸倉庫株式会社
- 9 千葉県 増田運輸株式会社
- 10 埼玉県 共進運輸株式会社
- 11 埼玉県 株式会社井ノ瀬運送
- 12 神奈川 株式会社アットロジ
- 13 山梨県 株式会社福島運輸
- 14 新潟県 株式会社新潟食品運輸

東海・中部・北陸地区

- 15 静岡県 株式会社タカキュー
- 16 愛知県 大池運送株式会社
- 17 愛知県 株式会社ヒラタ物流
- 18 石川県 北陸大池運送株式会社
- 19 石川県 若松梱包運輸倉庫株式会社
- 20 富山県 山森運輸有限会社



関西・中国・四国地区

- 21 大阪府 荒木運輸株式会社
- 22 大阪府 株レインボーロジ
- 23 大阪府 関西トランスウェイ(株)
- 24 大阪府 株ウエノコーポレーション
- 25 広島県 株式会社河野
- 26 広島県 濱野川産業株式会社
- 27 香川県 中四国ロジスティクス(株)
- 28 愛媛県 神山運輸株式会社

九州・沖縄地区

- 29 熊本県 株式会社コスモトランスポーティ
- 30 鹿児島 園田陸運株式会社
- 31 宮崎県 株式会社南九州共配
- 32 宮崎県 有限会社コア物流
- 33 鹿児島 株式会社肥後産業
- 34 熊本県 株式会社新興運送
- 35 大分県 株式会社鶴見運送
- 36 沖縄県 株式会社あんしん

首都圏総合物流センター

全国共配基幹センター

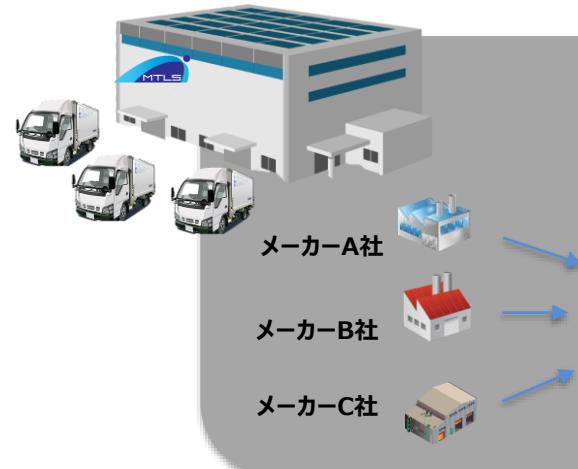


共同配送サービス拠点

小口・多頻度配送化の動きに対応

▶物流件数増加、貨物一件当たりの貨物量減少

Address 埼玉県さいたま市岩槻区浮谷610-1



首都圏総合物流 共同配送センター

- ・冷凍 714坪
- ・冷蔵 988坪
- ・partial 161坪
- ・常温 415坪

全コース数 16台

保管坪数: **埼玉県内最大級**

首都圏総合物流から5km圏内
隣接地域に自社倉庫2棟
物流増大に対応



埼玉物流センター

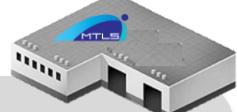
- ・冷凍 987坪
- ・冷蔵 2608坪
- ・常温 167坪

自社車両 70台

藤沢営業所

- ・冷凍 1235坪
- ・冷蔵 1453坪
- ・常温 280坪

自社車両 21台



全国共配網展開図



全国各地から荷物を集約
全国にお届けしています
関東近県は当日配送も可能

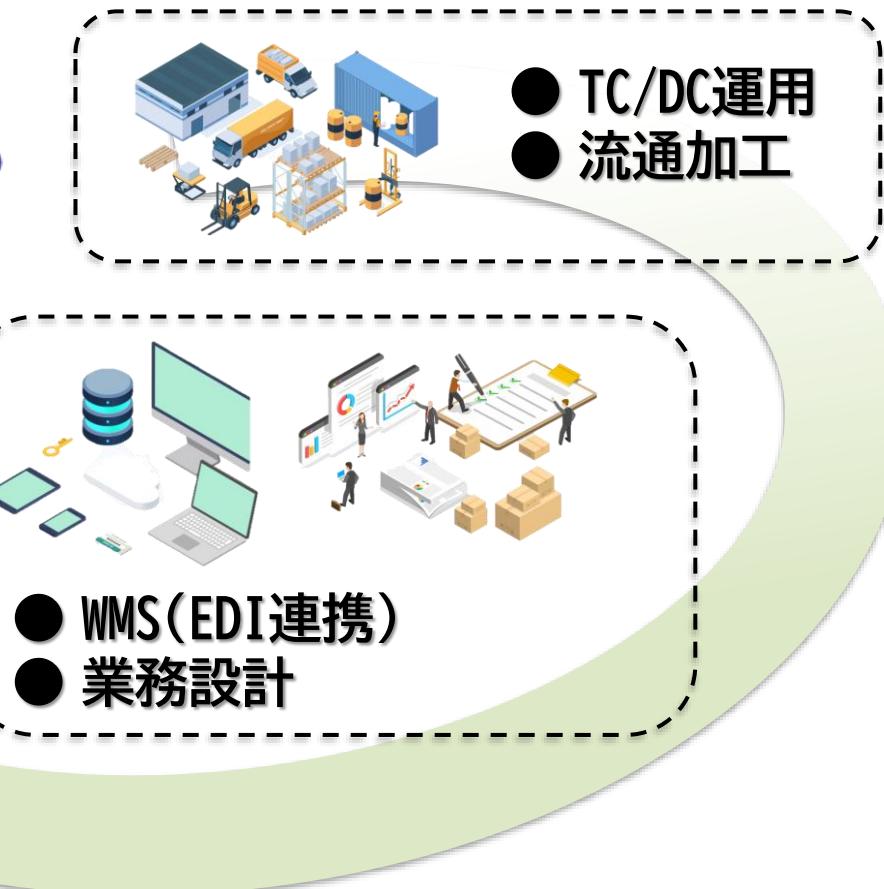


ソフト・ハード共に自社アセットによる
自社WMS、首都圏最大規模の倉庫/車両
最適運用のご提案をさせて頂きます。

トータルソリューション
サービス



- 配送(BtoB)
- EC発送



ワンストップ型 輸入物流 による 圧倒的コストメリット

一般的な輸入物流



ワンストップ型で
コストダウン!

Cost Down



保税倉庫と国内倉庫機能
1ヶ所に集約

*1 貿易港より直接、南日本運輸倉庫の【保税倉庫+国内配送機能】が集約された新規型の倉庫へ輸送することができます。

*2 関税などの申請作業は、税関長より許可を得ているため当社倉庫内にて行えますので、手間とコストを削減することができます。

輸入した全量に関税がかかる従来型に比べて、出荷量配分にのみ経費(関税・消費税など)がかかることから、キャッシュフロー面でも、ワンストップ型にはメリットがあります。

保税倉庫と国内倉庫の機能を1か所に集約していることから、ムダなコストがかからない!